

4 調査・研究

1 刊行図録

子ども参加プログラム向けパンフレット3 「色刷り石版画に触れよう！」

発行年月日 令和4年3月10日

掲載内容

明治から大正にかけて制作された鏗木清方の石版口絵の理解を深めるため、石版画の制作過程をわかりやすく、写真やイラストに解説をつけて紹介。

自宅や学校などでも実践できる、石版画の仕組みを応用した版画制作を実際の手順とともに紹介する。(日・英併記)

- ・ 石版画って何だろう？
- ・ 紙平版画に挑戦しよう！
- ・ 紙平版画で多色刷りをしてみよう！
- ・ 鏗木清方の石版画
- ・ 清方のことば
- ・ 紙平版画で清方先生の絵に挑戦！
- ・ 石版画の作り方



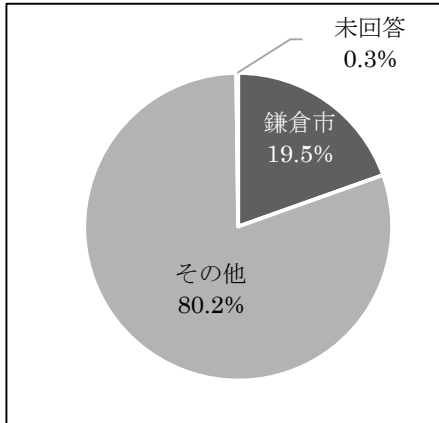
2 デジタルアーカイブ

令和4年(2022)3月に、デジタルアーカイブ「収蔵品データベース」に、収蔵する挿絵の画像と新規寄贈作品の情報、解説を公開した。(<http://www.kamakura-arts.or.jp/kaburaki/collection/>)
今回公開した点数は162点。

3 アンケート概要

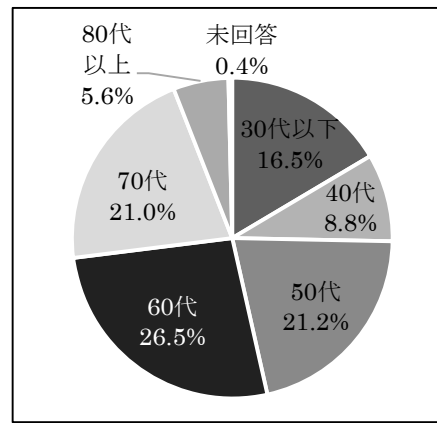
美術館運営の参考として、入館者の利用意向を把握する目的からアンケート調査を実施している。ここでは、特別展「随筆『續こしかたの記』刊行 60 年記念 清方が愛した江戸、東京。人、暮らし。」(5/22～6/27)と企画展「幽玄の美に誘われて ～泉鏡花と清方の出会い～」(8/28～10/19)を対象に実施したアンケートの結果をまとめた。

(1) 居住地域



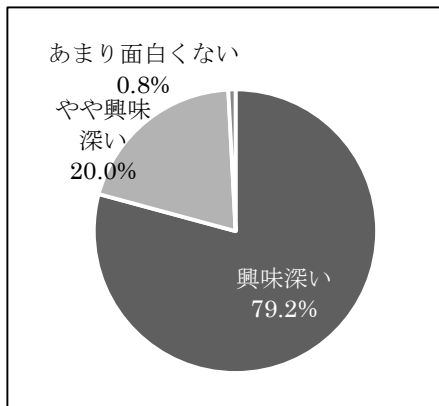
その他が 8 割以上を占めている。昨年度と比べると鎌倉市民の比率が 2.6%ほど増加した。

(2) 年齢



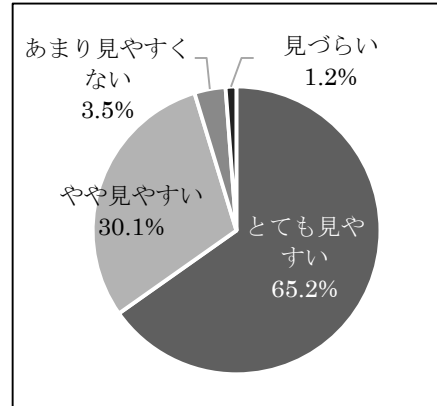
50代～70代が約 7 割を占めている。昨年度に比べ 30 代以下が微増しているものの、この年齢分布は、平成 30 年度以降ほとんど変わっていない。

(3) 展覧会評価



興味深い、やや興味深い が 9 割以上を占め、つまらないという回答は無かった。展覧会テーマや下絵と完成品を並べた展示内容が好評だった。

(4) 見やすさ



とても見やすい、やや見やすいが 9 割以上を占めた。概ね好評だが、展示室の明るさやキャプションの文字の大きさなどについての意見があった。

5 広報・宣伝

- 電柱広告掲出
- フリー鎌倉観光ガイド広告掲出
- 江ノ電「藤沢駅」「長谷駅」「鎌倉駅」展覧会ポスター掲出

この他、ホームページ上での情報提供を随時行い、鎌倉市発行の「広報かまくら」をはじめ新聞や雑誌、観光情報ポータルサイト等への展示事業及び普及事業についての情報提供を行っている。また、ご協力いただける近隣の店舗・事業所等に、展覧会ごとのポスター・チラシの掲示及び割引券の設置を依頼している。

新聞等への情報掲載	189
来館取材対応	3

6 共催・連携

「親子で美術館へ行ってみよう！美術館で絵画鑑賞と日本画入門体験！」

美術館での鑑賞マナーの説明や日本画ワークショップの実施

会場:鎌倉市鏑木清方記念美術館

日付:令和3年7月28日(水)

協力:NPO 法人 アートとつながる鎌倉

「鎌倉 葉山 近代日本画の巨匠の旧居跡めぐり」

相互割引、クイズラリー、ミュージアムグッズのプレゼントを実施

会場:鎌倉市鏑木清方記念美術館、山口蓬春記念館

期間:令和4年1月5日(水)～2月27日(日)

「鎌倉殿の重臣たちをめぐろう！」

人物紹介タペストリーの展示

会場:鎌倉市鏑木清方記念美術館、鎌倉市川喜多映画記念館、鎌倉芸術館、鎌倉文学館、鎌倉国宝館、鎌倉歴史文化交流館

期間:令和4年3月27日(月)～大河ドラマ終了まで

7 企画協力

「没後50年 鏑木清方展」

会場:東京国立近代美術館

【協力内容】展示、図録執筆、物品販売

【出品作品】

一葉女史の墓、秋宵、深沙大王、金色夜叉の絵看板、曲亭馬琴、早春、ためさるゝ日(右幅)、夏の生活、雪空、水汲、夕立雲、金沢絵日記、朝涼、註文帖、築地明石町(下絵)、新富町(下絵)、浜町河岸(下絵)、慶喜恭順、朝夕安居、先師の面影